

平成15年度静岡大学技術報告会参加報告

伊藤 篤 上野 素裕 工学部技術部

平成15年度静岡大学工学部技術報告会が平成15年12月19日(金)に静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館で開催され、技術部からは伊藤篤、上野素裕の二名が参加した。静岡大学とは平成13年より相互に技術発表会での交流を実施している。静岡大学では、昨年までの名称は技術発表会であったが、今年からは技術報告会となった。今年は、11月に三重大学で開催された機器・分析技術研究会のために三重大学工学部技術発表会が例年に較べ開催時期が遅れたことから、2日連続で双方の発表会開催となった。

静岡大学技術報告会では、口頭発表が11件、研修報告が12件であった。三重大学と比較して工学部以外の全学の技術組織が連携して開催していることと、技術発表に加え研修報告を行っていることが特徴である。特に浜松キャンパスと静岡キャンパスは距離が離れているので、実施もたいへんなようである。研修は、各学科のメンバーが協力、連携してテーマを設定し、講習会形式で実技をともなった技術習得を目的とするものである。これは、当技術部で実施しているグループを主体に開催している技術講習会に相当するが、その報告は、技術報告集でのみ行われており、静岡大学の例に倣って技術報告会で口頭発表する機会を設けることも良いと感じた。

口頭発表では、「技術部業務運用・管理システムの構築事例紹介」を発表した。内容は、三重大学工学部技術部の紹介と再組織化に向けてこれまで検討されてきた業務体制のあり方、専門別のグルーピング、研究分野と技術部との時間配分、そしてこれらを実務面から支援する業務運用・管理システムの概要、仕組み、システム構成、Web技術、データベース技術およびセキュリティについて紹介を行った。システムに求められる要件では、①業務依頼から完了、決裁までの全工程の手続きと情報を電子化し、業務依頼者、居室が分散している技術部メンバー双方の情報交換・共有をスムーズに実現すること。②業務に関わる全ての情報は、データベース化し部内で共有すること。③サービスの利用は、利便性を損なわずに情報を保護し、ユーザの使用機器やOSなどによらずWebブラウザをインターフェースに直感的に操作出来ること。④システムの運用と監視、メンテナンス性に優れ、現在運用中の技術部Webサーバで安定に稼動すること。⑤三重大学情報セキュリティポリシーを遵守すること。などがあげられる。これらの要件を踏まえた上で、本システムの開発と構築では、①実現するサービスと手順の明確化。②データベースの設計、作成(ERモデル、リレーショナルモデル、制約、正規化、データ型、インデックス、スキーマ定義)。③サーバのハードウェア、ソフトウェアの選択、設定。④メニュー、入力フォーム、Web画面の設計、作成。⑤フローチャート、プログラムの作成。⑥試験運用、セキュリティチェック、バグ・トラブル出し、機能の追加および修正、最適化。⑦本運用開始。⑧バグ・トラブル対処、改良、最適化。以上の手順を進めており、現在は⑦の本運用前であることを紹介した。

質疑(休憩時間を含む)では、組織、業務体制、グループ制、準備期間での作業の進め方、時間配分、システム、セキュリティについて質問があった。専門別に新たに組織するグループで共同して業務にあたることに対して賛成意見が聞かれた。静岡大学工学部とは、組織体制と業務の運用・管理の在り方が異なることから、今すぐこのシステムに対して作り直すような点は見いだせなかったが、今後も技術交流を通じて情報交換を進めていくことが重要であると感じた。